

お知らせ

2026年 4月14日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ（広島）、中国地方建設記者クラブ、広島県政記者クラブ、尾道市政記者クラブ、愛媛番町記者クラブ、今治市政記者クラブ、高松経済記者クラブ

瀬戸内しまなみ海道が全線開通から20周年を迎えます

E76西瀬戸自動車道（以下、「瀬戸内しまなみ海道」）の全線が開通してから4月で20周年を迎えます。

本州四国連絡高速道路株式会社（以下、「JB本四高速」）、国土交通省中国地方整備局（生口島道路を管理）、同四国地方整備局（大島道路を管理）が合同で瀬戸内しまなみ海道のこれまでの歩みを別添資料にまとめました。

また、JB本四高速では、全通20周年を迎えて全面リニューアルする瀬戸田パーキングエリア（上り）において、オープニングイベントを4月20日(月)に開催します。

○問い合わせ先

<全般、西瀬戸自動車道（瀬戸内しまなみ海道）、イベントに関する事>

JB本四高速 広報CS課 TEL 078-291-1023（直通）

土日及び祝日を除く9時00分～17時30分

<生口島道路に関する事>

国土交通省 中国地方整備局 道路部 道路計画課 TEL 082-221-9231（代表）

【担当】課長 宮田 修（みやた おさむ）（内線 4211）

建設専門官 川本 暁（かわもと あきら）（内線 4614）

<大島道路に関する事>

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路計画課 TEL 087-811-8322（直通）

【担当】課長 森倉 遼太（もりくら りょうた）（内線 4211）

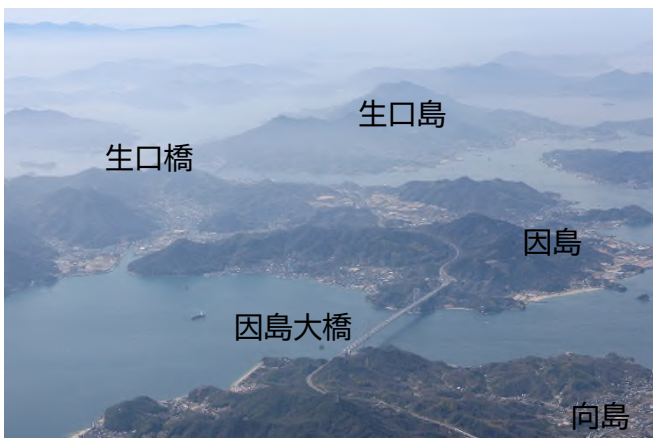
課長補佐 古川 俊彦（ふるかわ としひこ）（内線 4214）

1. 瀬戸内しまなみ海道の主な出来事

- 1999. 5 新尾道大橋・多々羅大橋・来島海峡大橋開通
「尾道～今治間が自動車移動可能に」
- 2005. 1 今治市(12市町村)合併
- 2005. 3, 2006. 1 尾道市(5市町)合併
- 2006. 4. 22 大島道路(大島北～大島南)開通
- 2006. 4. 29 生口島道路(生口島北～生口島南)開通
「瀬戸内しまなみ海道 全線開通」
- 2014. 3～10 瀬戸内しまのわ 2014 開催
- 2014. 4 全国共通料金の導入
- 2014. 5 米 CNN が「世界で最も素晴らしい自転車道の一つ」に選定
- 2016. 10 サイクリングしまなみ初回開催(以降2年毎に実施)
- 2018. 7 西日本豪雨により一部区間・周辺地域が被災
- 2019. 11 第一次ナショナルサイクルルートに選定
- 2024. 5 瀬戸内しまなみ海道開通 25 周年
- 2026. 4 瀬戸内しまなみ海道 全線開通から 20 周年



出典：JB 本四高速



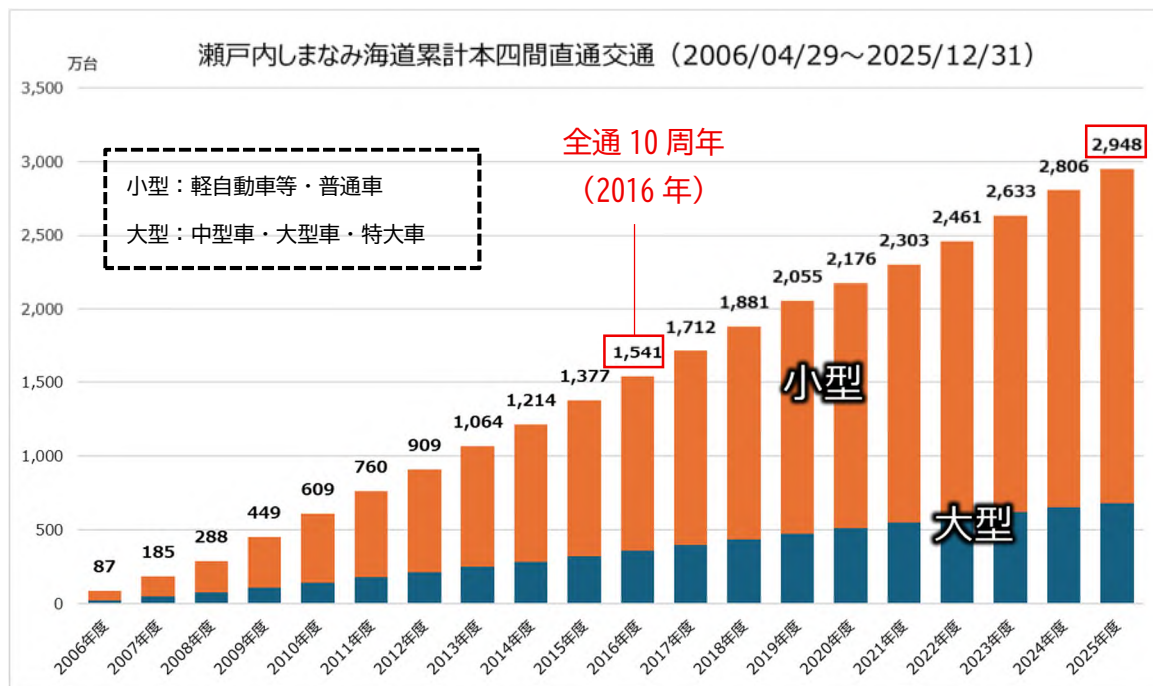
向島上空より向島、生口島を望む



今治市上空より大島を望む

2. これまでの利用台数

瀬戸内しまなみ海道全線を直通（西瀬戸尾道 IC⇔今治北 IC 又は今治 IC 間を降りずに通行）で利用した方は、2025 年 12 月末までで累計約 3 千万台となっております。



また、生口島道路・大島道路について、2025 年 12 月末までそれぞれ累計約 5 千万台の方にご利用いただきました。



3. 瀬戸内しまなみ海道全線開通の効果

(1) 時間短縮

本州四国間の所要時間は、瀬戸内しまなみ海道の全線開通に伴って100分短縮しました。
 (①大三島橋開通前160分 → ③瀬戸内しまなみ海道全通後60分)

尾道市役所～今治市役所 所要時間の推移

年度	①1979年度 (大三島橋開通前)	②1999年度 (瀬戸内しまなみ海道全通前)	③2006年度 (瀬戸内しまなみ海道全通後)
時間(分)	160分	80分	60分
移動手段	フェリー・自動車	自動車	自動車
短縮時間		80分	100分
所要時間比		50%	38%



出典：「道路時刻表」(道路整備促進期成同盟会全国協議会)、「全国フェリー・旅客船ガイド」(日刊海事通信社)ほかより作成

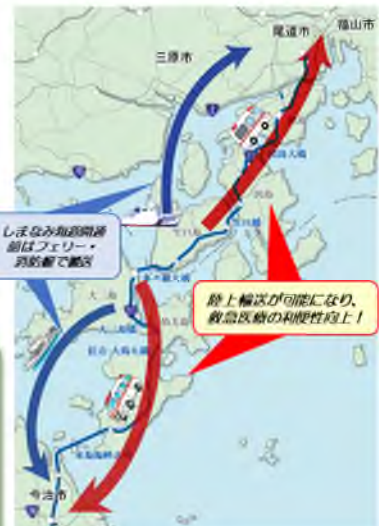
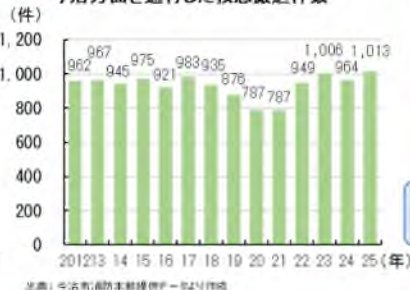
(2) 救急搬送が確実に、くらしの安心につながっています

瀬戸内しまなみ海道を通行した救急搬送は、尾道市の生口島から年間250~400件、今治市の島しょ部(大三島・伯方島・大島)から年間800~1,000件程度発生しています。瀬戸内しまなみ海道の開通によって終日・即時の搬送が可能となり、くらしの安心につながっています。

■ 生口島から尾道方面を通行した救急搬送件数



■ 今治島しょ部(大三島・伯方島・大島)から今治方面を通行した救急搬送件数



消防関係者の声

本四架橋開通前は、島しょ部の救急搬送は救急消防艇に頼っており、天候や時間帯に大きく左右されていました。搬送時には複数回の乗せ換えが必要で、傷病者への負担も大きいものでした。

瀬戸内しまなみ海道の開通により、陸路での迅速な搬送が可能となり、搬送時間の短縮や気象条件の影響軽減、夜間対応の強化など、救急医療体制が大きく向上しました。観光客や高齢者の増加にも対応できる体制が整い、島民の安心・安全な暮らしに貢献しています。

(3) 本州四国間の安定した移動に貢献しています

2018年は豪雨や台風が発生して他のルートでは各種交通機関の通行止め・運休が発生しましたが、瀬戸内しまなみ海道の中型車以上の交通量が約65%増加し、う回路として機能したと考えられます。

瀬戸内しまなみ海道は天候が安定しており、強風による通行止めは過去1回と、本州と四国間の安定した移動が可能となっています。

■台風21号による通行止め時の交通量の増減



■2018年台風21号による通行止め時間

路線	2018年9月4日
神戸淡路鳴門自動車道	10:00 ~ 18:40 約9時間
瀬戸中央自動車道	9:45 ~ 17:00 約7時間
西瀬戸自動車道	通行止め無し

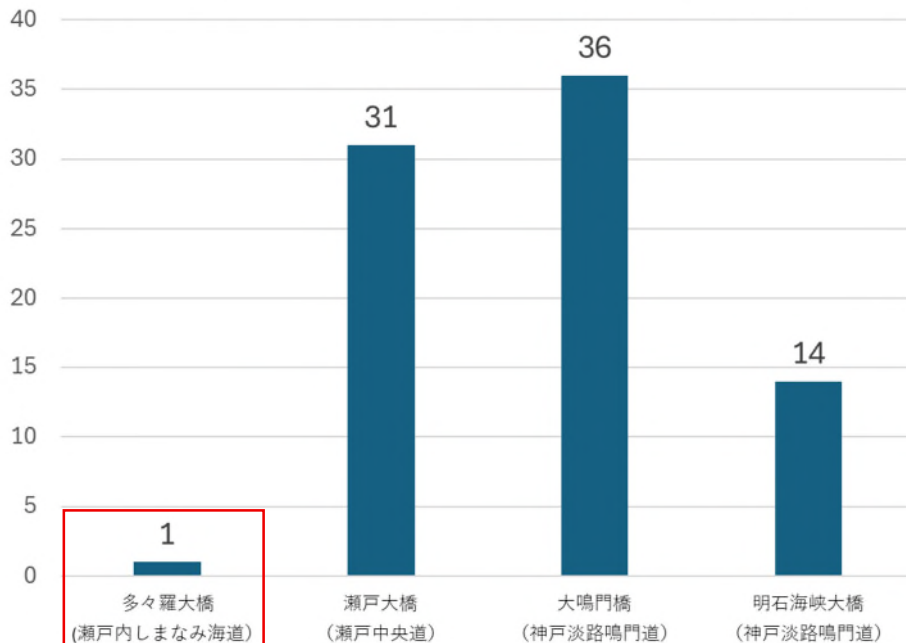


物流関係者の声

- 台風などで、通常利用するルートが通行止めの際は、通行可能な他のルートへ迂回しています。
- 本州・四国間は3本ルートがあるので、万が一通常利用するルートが通行止めとなっても、到着日時に関して荷主の要望に応じることができます。

※対象は中型車以上

2006～2023年度までの強風による通行止め回数



(4) 観光にも役立っています

瀬戸内しまなみ海道は、定期的に行われる国際サイクリング大会のルートの一部となっており、自転車観光による地域振興に貢献しています。



開催日	2026年10月25日(日)
参加定員	7,000人
コース	8コース(30~140km)



出典：サイクリングしまなみ2026 実行委員会 HP より

4. 関連イベント

J B本四高速では、全通20周年を迎えて全面リニューアルする瀬戸田パーキングエリア(上)において、オープニングイベントを4月20日(月)に開催します。

詳しくは下記のリンクをご覧ください。

https://www.jb-honshi.co.jp/corp_index/press/pdf/2026/260409press-1.pdf

